



コロナ禍の中、千駄木小とのリモート交流会! (5年生) 1月

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、千駄木小との訪問交流が中止となってしまいました。残念に思っていたところ、千駄木小からリモートでの交流を呼びかけられ、今回実現となりました。

交流は5年生が学級ごとに2部に分けて行いました。第1部はビデオ交流で、学習発表会で踊ったダンスや米作り体験の思い出発表、仙南地区の名物紹介をし、お互いの様子をビデオ等で伝え合う活動を冬休み明けに行いました。そして、第2部がリモートでの交流(今回)です。

少し、緊張しながらも画面に千駄木小の5年生の映像が映し出されると歓声が上がります。まずは、ビデオを見ての感想発表です。続いては、クイズコーナー、仙南小は方言クイズ(「まなぐ」の意味は?など)、千駄木小は東京クイズ(上野動物園のパンダの名前は?など)、そのあとじゃんけんゲームやジェスチャークイズで盛り上がりました。互いに訪問しての交流はできませんでしたが、コロナ禍の中で工夫した交流ができ、千駄木小との交流が深まったようです。子どもたちの発表からも、「また、やりたい。」「コロナが収まったら会いたいですね。」などの感想が聞かれました。



画面に映し出された千駄木小の5年生



みんなで合図を送ります



方言クイズ

6年生、最後の読み聞かせ 家でも、本を読みまじょう! 学校の本を貸し出します!

1月26日は6年生の読み聞かせが最後の日でした。最後の1冊は「あおいアヒル」という絵本でした。たっぷりとお話の世界に浸ったひとときでした。「紙ひこうき」の皆さん、6年間ありがとうございました。

また、図書室からのお知らせです。本をたくさん読むことで、興味関心の幅が広がりますが、学校評価では家庭での読書が少ないという声がたくさん聞かれます。学校では、そのような現状を受けて、これまで長期休業前にしか実施してこなかった本の貸し出しを、これからは毎日行うことにしました。借りた本は大切に扱いながら、家庭でも読書を楽しんでほしいと思います。



コロナ禍の中、訪問ができないため、わざわざ職員の方においでいただきました。

例年であれば、ロートピアを訪問し、どんな施設なのか、介護の仕事とはどんなことなのかについてお話を聞き、入所・通所されている方々と触れ合いながら、福祉について考えるところですが、それができないため無理をお願いして職員の方においでいただきました。子どもたちからは、事前に質問がだされ、「1日の仕事のタイムスケジュールは?」「やりがいを感じるのはどんな時ですか?」などの職員の仕事に関する質問や「お年寄りの方は、どんな食べ物を好みますか?」などの入所されている方に関する質問に写真を見せていただきながら丁寧にお答えいただきました。どの子どもも、びっしりとメモをとりながらわかりやすく学習できました。ロートピアの皆さん、お忙しい中、ありがとうございました。



写真を見せていただきながら



実際のムース状のソフト食

“起源と対話”木・火・土・金・水 大小島真木展を訪れて

五行思想をテーマに描かれた、町内にある大小島真木さんの壁画5点が一堂に集められた特別展に全校児童が行って来ました。見慣れた仙南小の「土」以外の壁画も鑑賞し、さまざまな感想をもったようです。紹介します。

- 素敵な絵を見せてくださってありがとうございました。仙南小学校の絵を描いてくださって本当にありがとうございました。(2年 O. OOさん)
- 大小島さんからの「いろんな生き物がいないと生きていけないと思ったから。」ということを知り、わたしも同じことを思いました。(2年 M. OOさん)
- 大小島さんの絵を見て、それぞれの地域にあった絵を描いていると思いました。仙南小は田んぼが多いから「土」。六郷小は竹うちなどで「火」、千畑小は松並木など木が多いから「木」などと、それぞれの地域にふさわしい絵だと感じました。(5年 M. OOさん)
- わたしがすごく心に残ったのは、学友館に入って最初に飾ってあったクジラの絵です。大小島さんがなぜ、その絵を描いたのか?それは、海岸に打ち上げられたクジラの死骸を鳥がつついて食べている様子から生き物の生命力を感じとったからだと思います。わたしも、その絵を見て改めて動物の生きる力を知ることができました。(6年 S. OOさん)

●第14回美郷ウィンターカップ 少年フットサル大会 (12月27日)

U12の部 Bブロック
準優勝 美郷FC

●大仙地区U10～U12 フットサルフェスティバル (1月11日)

準優勝 美郷FC

サッカースポ少の6年生の皆さんからフットサル大会の報告を受けました。おめでとうございます。

